記録書 No.39 (2015年10月27日~2015年11月18日)

2015年11月19日 乃村研究室 M1 藤田 将輝

0. 前回ミーティングからの指導・指摘事項	
(1) 特になし	
1. 実績	
1.1 研究関連	
(1) 研究テーマに関する項目	
(A) 参考文献の読解	$(50 extbf{\%}$, $+0 extbf{\%})$
(B) 割り込みの禁止/許可の実装	(90% , $+90%)$
(C) バ グの再現	$(0\ \%\ ,\ +0\ \%)$
(2) 開発に関する項目	
(A) 自動ビルドスクリプトの作成	$(95\ \%\ $, $+0\ \%)$
(B) Mint の GRUB2 への対応	$(90\ \%\ $, $+0\ \%)$
(3) 第 288 回 New 打ち合わせ	(10/29)
(4) 第 29 回 New 開発打ち合わせ	(11/06)
(5) 第 289 回 New 打ち合わせ	(11/11)
1.2 研究室関連	
(1) 全体ミーティング	(10/27)
(2) 平成 27年度第2回部屋別対抗ボウリング大会	(10/27)
(3) 平成 27年度 M2 および M1 論文紹介	(10/30)
(4) 乃村研究室忘年会	(11/14)
1.3 大学院関連	
(1) 特になし	

2. 詳細および反省・感想

2.1 研究関連

(1B) Mint を用いて,短い間隔で連続で割り込みを発生させる環境を構築している.この環境を使用して,短い間隔で割り込みを連続で発生させた際,どの程度の間隔とパケットサイズならばパケットの受信に成功するかを測定したところ,パケットの処理中に適切に割り込みを禁止できていないことが分かった.このため,割り込みの禁止/許可を実装している部分を特定し,実装した.今後,この環境を用いて再測定を行い,正しい結果が得られることを示す.

3. 今後の予定

3.1 研究関連

(1) 研究テーマに関する項目

(A) **参考文献の読解** (12 月中旬)

(B) **割り込みの**禁止/許可**の**実装 (12 月上旬)

(C) **バ**グの再現 (12 **月上旬**)

(2) 開発に関する項目

(A) 自動ビルドスクリプトの作成 (12 月中旬)

(B) Mint の GRUB2 への対応 (12 月中旬)

(3) 第 30 回 New 開発打ち合わせ (11/24)

(4) 第 290 回 New 打ち合わせ (11/25)

3.2 研究室関連

(1) 全体ミーティング (11/29)

(2) B4 中間発表 (11/20)

(3) M2 中間発表 (12/01)

(4) SWLAB 忘年会 (12/01)

3.3 大学院関連

(1) 特になし